

## 「地域が抱える問題についてのアンケート」結果について

昨年末より取り組んでいただいた「地域が抱える問題についてのアンケート」ですが、おかげをもちまして多数の回答をいただくことができました。皆さまのご協力に深く感謝いたしております。

アンケートの結果は次のとおりです。回答数は535件で、内訳は男性226件、女性309件、年代別では10代～30代45件、40代～50代102件、60代以上388件です。

アンケート結果の傾向として、どれも重要な課題とするも10代から40代の方々は川地中学校統廃合問題やAコープ閉店問題、50代から60代の方々はAコープ閉店問題や農業中心に産業問題、また60代以上の方々は地元タクシー閉業問題やAコープ閉店問題にそれぞれ強い関心を持っておられることが分かりました。

私たちアンケート準備委員会の中で、これらの課題を今後どうしていくのか検討した結果、重要課題として中学校統廃合問題、交通手段問題、農業中心とした産業問題の3点に絞り、実行委員会を設置、分科会を設けて課題解決に向け取り組みを進めていこうとの結論に至りました。

つきましては、令和8年度4月以降、実行委員会（仮称 川地未来会議）を組織するべく委員の募集を行います。分科会を通して意見を出し合いながら、取り組んでいこうと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

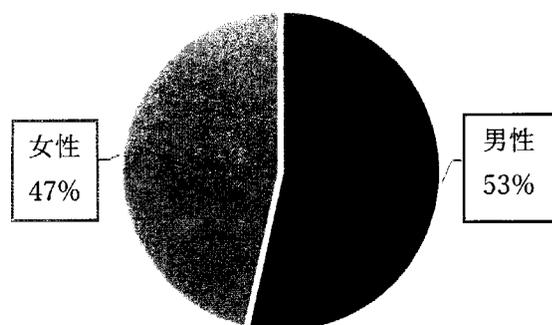
なお、裏面以降には、選択された項目についての全体及び年代ごとの傾向や主な意見を載せております。

令和8年(2026年)3月

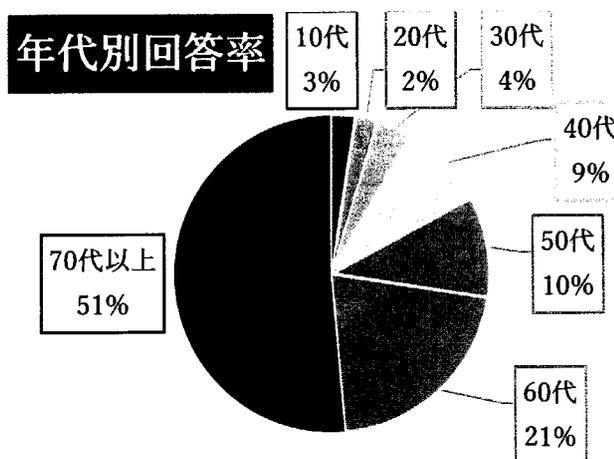
川地連合自治会 会長 久保田博昭

アンケート準備委員会 一同

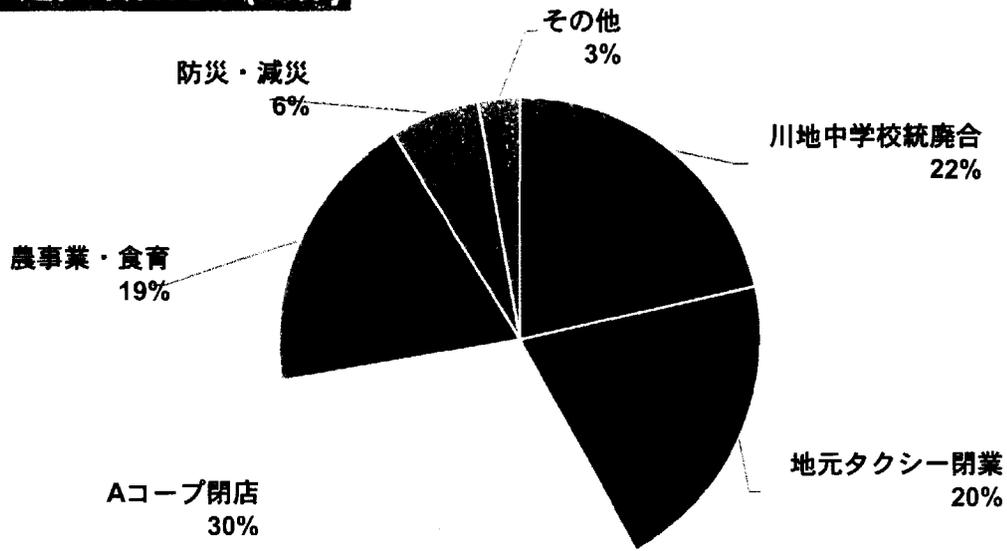
### 性別



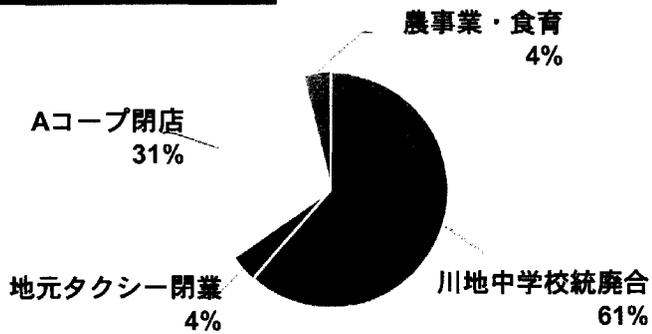
### 年代別回答率



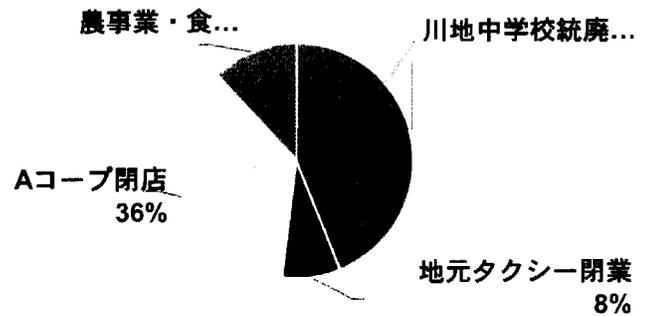
## 地域アンケート選択項目比率(全体)



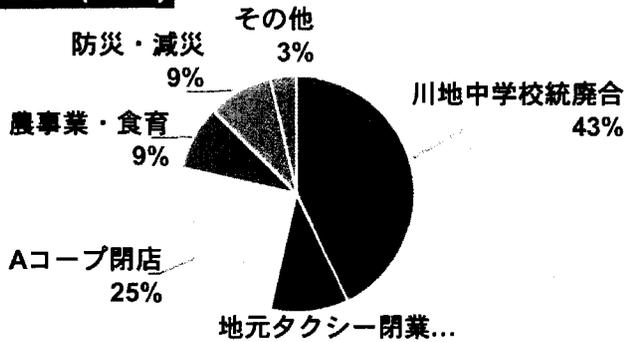
## 選択比率(10~20代)



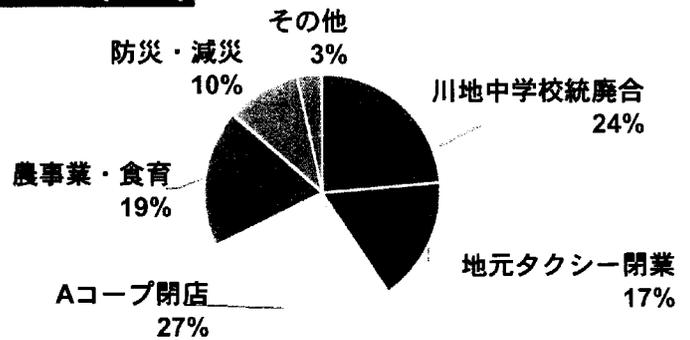
## 選択比率(30代)



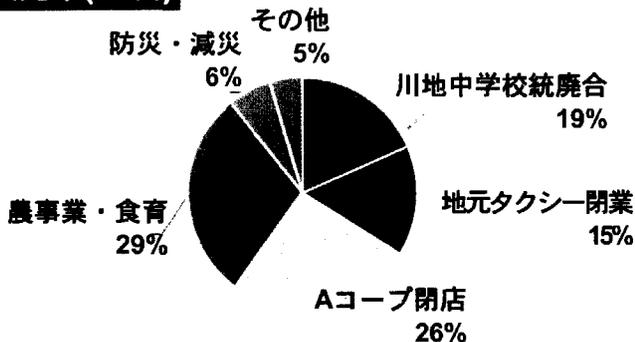
## 選択比率(40代)



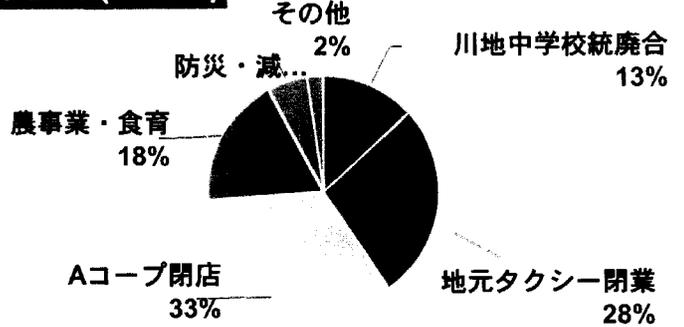
## 選択比率(50代)



## 選択比率(60代)



## 選択比率(70代~)



2026.1 川地連合自治会 アンケート選択項目状況 (\*複数選択されたものもそのまま載せております。)

項目・年代	10・20代		30代		40代		50代		60代		70代～		合計	全体割合
①川地中学校統廃合	16	61.5%	11	44.0%	24	42.9%	14	23.7%	24	18.5%	40	13.2%	129	21.5%
②地元タクシー閉業	1	3.8%	2	8.0%	6	10.7%	10	16.9%	20	15.4%	83	27.4%	122	20.4%
③Aコープ閉店	8	30.8%	9	36.0%	14	25.0%	16	27.1%	34	26.2%	101	33.3%	182	30.4%
④農事業・食育	1	3.8%	3	12.0%	5	8.9%	11	18.6%	38	29.2%	55	18.2%	113	18.9%
⑤防災・減災		0.0%		0.0%	5	8.9%	6	10.2%	8	6.2%	17	5.6%	36	6.0%
⑥その他		0.0%		0.0%	2	3.6%	2	3.4%	6	4.6%	7	2.3%	17	2.8%
選択項目合計	26		25		56		59		130		303		599	
アンケートの回答数	12		20		47		55		113		275		522	

アンケートに寄せられた主な意見

■10代～20代

川地中学校の統廃合計画について	川地地区の産業がどんどん衰退していくと思います。学校がないとUIJ ターンが見込まれません。
川地中学校の統廃合計画について	関わりの深い学校であるから。未来の子供たち大丈夫かなと不安です。川地の学校がひとつ減ってしまうというのが悲しい。
川地中学校の統廃合計画について、Aコープかわち店閉店に伴う川地の暮らしについて	Aコープかわちが無くなると、日用品を入手するのに不便になる時があるから。川地中学校が無くなるとふるさと祭りなどの交流の場が無くなってしまう可能性があるから。
川地中学校の統廃合計画について	10代なので、一番関りがあるから。なんで十日市と統合するのかと思った。果立に進んでいて十日市のうわさは結構聞いたことがあるので、十日市はやめてほしいなと思った。
Aコープかわち店閉店に伴う川地の暮らしについて	お年寄りの方達の買い物が不便になるのではないかな。
Aコープかわち店閉店に伴う川地の暮らしについて	製造業の場として活用するのいいと考えた。 昔の知恵や知識を生かして、おもちゃ作りや漬物、1日数量限定のお弁当販売など、人それぞれの体力に合わせて仕事選びができると思う。 SNSを使って発信して川地の魅力を伝えていく。各地からの移住をしてもらうためには生活しやすい環境を整える事。業務スーパーとかほしい。

■30代

Aコープかわち店閉店に伴う川地の暮らしについて	コンビニでは買えないものもあるから。唯一のスーパーだったので閉店すると聞いて驚きです。スーパー、コンビニ、学校、のどかな自然、こんなにいいところだから家を建てたのに、次々になくなっては寂しくなっていく町で残念。こんなにいい人ばかり温かい町なのにこの先が不安です。
-------------------------	---

川地中学校の統廃合計画について	<p>未就学児がいるため、学校の統廃合について関心があります。</p> <p>私の考えでは、児童数があまりに少ない学校では、人間関係が固定化しやすく、困ったときに逃げ場がなくなることや、部活動などの選択肢が限られることなどから、子どもにとって充実した学校生活を送ることが難しくなるのではないかと懸念しています。</p> <p>このような状況を踏まえると、今後も児童数の大幅な増加が見込めない以上、川地小中の統合については、できるだけ早期に進めていただきたいと考えます。</p>
地元タクシー事業に伴う交通手段の確保	<p>他地域においては乗合タクシーなどあるが、川地においてはそれが無い。芸備線やバスがあるとはいえ、本数も少ないうえ、そもそも家から駅やバス停に行く手段がない高齢者も多い。手軽に登録・利用できるライドシェア制度があり、運転手にも見返りがあれば助かる高齢者がいるかもしれない。また今後、小中学校の統廃合によりスクールバスが必要となった時どうするか。ハイエースまたはマイクロバスを市が買って貸与してくれて、大型または中型2種の取得費用を肩代わりしてくれるならやってみようという人もいないのか。</p>

■40代

A コープかわち店閉店に伴う川地の暮らしについて	<p>高齢者で車などの移動手段のない方は、買い物に行く場所がなくなるので、他のスーパーなど出店してもらえないか。人気のスーパーが来れば若い人の利用も増えると思う。</p>
A コープかわち店閉店に伴う川地の暮らしについて	<p>住んでいる地域にスーパーが無くなると生活しにくくなります。いつまでも、車に乗れる訳じゃないし。割と住宅が多いのにスーパーが無くなるのが不思議です。</p>
川地中学校の統廃合計画について	<p>自分の子どもが当事者の為。かわちの中学校に通わせかけたが途中で別の学校に変わるので、今、川地中に通わせるか、最初から十日市に通わせるか、または別の学校に通わせるか。子どもにとってどの選択が一番良いか、親も子供もずっと不安でいっぱいです。</p> <p>心が不安定な子や、チック症がある子など、新しい場所で馴染めるか、イジメられないか、悩みは尽きません。</p>
川地中学校の統廃合計画について	<p>学校がなくなると今から通う子ども達も不便になるし、その子達が大人になり学校がないと川地へ帰ってこなくなる。よく分からない大人の勝手な考えで子どもの気持ちを無視し勝手に進めるのは如何なものかなと思います。</p>
川地中学校の統廃合計画について、川地のこれからの農業について	<p>中学校について、以前川地中及び小学校についての統廃合計画について教育委員会より説明会があった際、大多数の方が納得していない結果で終了した後、再度説明を行うと聞いているが、未だに開催されていない。このまま進めるのはおかしい。</p>
特になし	<p>上記5点の問題点は、最近に始まったことではないのに、何の対処もしていない地域であること。</p>
川地中学校の統廃合計画について	<p>子どもが今中学生でその下の子どもも小学校。三次まで中学校へ通う事への不安があります。</p>

地元タクシー事業に伴う交通手段の確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>・独居の方の通院方法として介護タクシーしか選択肢が無いのでは？</li> <li>・退院後、通院が困難になった場合の療養先の選択として施設か療養型病院への転院となってくる事が容易に予測される。</li> <li>・免許を返納できない状況が必然となり事故率もあがるのでは？</li> </ul>
--------------------	---

### ■50代

川地のこれからの農業について	一つに絞れないほど、全てに置いて課題が多いと感じます。人口減少で子供たちは減り、学校が維持できないのは仕方ないとも思いますが、あまりにも残念。コープやタクシーがなくなるのもやはり利用者が減り売り上げが上がらなければ維持できないのも仕方ない。農業については、土地を守る、と言う思いだけでは誰も担い手は現れない。誇りを持てる仕事、安定した給料を稼げる仕事にならなければこれも当然です。耕作放棄地が増える事も残念ですが、畦や水路の草刈り、溜池の管理など部落ごとの取組みも難しくなっています。根本的な改革が必要だと感じています。
川地のこれからの農業について	クマの目撃情報 現在は生活にあまり変化はないが、この先秋田谷山形のように日中でも目撃されるようになった場合、今までと同じようなゴミ捨てなどができなくなるのでは？
川地中学校の統廃合計画について	統廃合するにもしないにしても、子どものいない町の在り方(減少していることを考えて)を考えていく必要はあると思います。まちづくりを考える中で学校機関の在り方も考えていかななくてはならないのでしょうか。
地元タクシー事業に伴う交通手段の確保	高齢者の方が車の運転が危なくなり免許証を返納される方が多くなる中、交通手段がなく困る方が多いと思われます。病院など行ったりされる場合とても困る方がいる為、出来れば他の地域のように乗り合いタクシーが週1~2回あれば助かるのではないかと思います。
Aコープかわち店閉店に伴う川地の暮らしについて	どの項目も川地が住吉地域でなくなることばかりで不安しかありません。どれかをではなく若い人が住みたいと思える地域にしていく事が、いろんな過疎化の防止策になるのでは・・・と思います。

### ■60代以上

Aコープかわち店閉店に伴う川地の暮らしについて	買い物難民になりそうです。移動販売や生協などを利用すれば何とかなるかもしれませんが、買い物の楽しみがなくなりそうです。タクシーもないので高齢になると困ると思います
地元タクシー事業に伴う交通手段の確保について	買い物が多少不便に。二種免許があるので休日とかに貢献できると思う。過疎化だけは食い止めたい。
地元タクシー事業に伴う交通手段の確保	ぜひ取り組んでいただきたいのが、現在実証実験中の「のるーと」の運行範囲と利用の拡充です。子ども達の通学に「のるーと」を活用できる運行を検討し、その料金の補充も行っていただきたい。現行だと三次市内の中心部とその周辺だけが恩恵を受けるルートに見えます。郊外の地域だからこそ、交通手段が必要であることを十分にご理解いただき、対策を立てていただきたいです。

A コープかわち店閉店に伴う川地の暮らしについて	「川地、川立の女性が地元で働ける場所がなくてはいけない!!」と当時 JA 女性部の部長さんを長い間しておられた地元の方がとても力を注いで A コープを誘致して下さったことを知っているものとしてはさみしい。残念のほかありません。だからと言って、自分に何ができたんだろうと思う日々です。西の玄関がこんなにさびれちゃいけません。更地のままではいけないと思います。若い人も帰って来なくなります。志和地、川立が輝けるなにかはないものか？
A コープかわち店閉店に伴う川地の暮らしについて	地元唯一のスーパーが無くなることは地域の衰退につながる。特に徒歩や自転車で買い物に行っていた高齢者の支援が必要。案 1「移動販売車の拠点として場所を提供」 案 2「地元の農産物の直売所」 案 3「憩い、語らいの場所として小さな屋根とテーブル、ベンチを置く」 案 4「時季折々のイベント開催場所として利用」
A コープかわち店閉店に伴う川地の暮らしについて	代表して A コープを選んだが、すべてに関心有。高齢者特にこの広い地域、秋町、上川立、下志和地の広範囲「中学校」「タクシー」「A コープ」がなくなれば、三次または甲立、吉田まで足を運ぶことになるが、高齢化で運転もできない状態で何をどうすれば?? 考えがつかない。この広い範囲を市としてはどう考えているのか、十分な話し合いを早く進めてほしい。
A コープかわち店閉店に伴う川地の暮らしについて	日用品等の必要品の買い物に十日市町、甲田町に出向いていかなければならない。運転免許返納を思いつつ決断できない。移動販売など(定期便)でもあれば助かる。
A コープかわち店閉店に伴う川地の暮らしについて	1店舗の閉鎖を越えて川地の中心地の喪失を意味すると思う。 JA 西支店も客が多いわけではない。10 年先を見据えて川地自治会館の移設を目指して働きかけていくべきだろう。西支店に入れればベスト。 当面は、A コープのトイレ、給水、給電設備をイベント用にどう確保していくか、川地の意見をまとめて 2 方面にアピール(要請)していく必要がある。
高齢化少子化に上る、地域の衰退！	高齢化、少子化により、全ての項目に支障・影響が出ている。特に現在は高齢者の増により買い物、通院、その他移動手段がない。地元タクシーを廃業した。行政として出来るのか/やるのか(やれない)なら抽象的な表現の「検討する」の言葉はしないで欲しい。又、地元の自治会等含め、全員で対応策を検討し行政に提案すべき。 無くなり困れば何らかの知恵が出るはず！ また、今後公共施設で使い道のないものは解体し、平地にすべき。残して地元で地元で利用方法を検討して頂きたいはダメ。例)旧志和地小学校、いまだに利用せず！
川地のこれからの農業について	放棄地の増加、自分が年を取り草刈りもままならず、便利の良い田は耕作を引き受けてもらっているが、小さい田等は引き受けてもらえず荒れている状態です。先行き不安。 食育についてほとんどが外国製品。外国で作られているようなのでこれからの子どもたちの健康が心配です。(食の安全基準が守られているのか?)

川地のこれからの農業について	<p>全ての原因は少子高齢化による過疎化ではないかと考える。</p> <p>この状況は既に数年前から始まっている。しかし、その対応は古い考えのもとで相変わらず私的な利益を考える方向でしか考えられていない。今年の元旦の中国新聞の社説や農業関連の所説を見て私が地元へ帰省して以来説いている事を今頃になって言ってるのかと思うととても残念だ。資本主義社会だから仕方ないとしても、民主主義の基本に返って勝負けのない社会を築いてほしい。</p>
川地のこれからの農業について	<p>後継者不足により、放棄地がふえて、農地が荒れ、鳥獣害が増えて行くことに不安を感じる</p>
川地のこれからの農業について	<p>(農事業)大変な問題だと思います。若い時代には、田んぼを多く求めてしまって、現在は稲作をするのに苦しんでいる実態があります。昨年までは米の安さに苦しみ、農業機械を買うにも自前の仕事のお金をつぎ込み生活を圧迫させる日々でした。もう少し早く今年のように米価になれば、もう限界です。土地を荒らすわけにもいかず、太陽光発電にはいけないのか？迷っています。</p>
川地のこれからの農業について	<p>この数年で空き家が増え放棄地増加により獣害もひどくなっています。田畑はもちろん庭も荒らされ生活しにくく感じます。農事業だけではなく、学校やスーパーがなくなるとさらにUターン、Iターンしてくる若い人たちがいないと思います。何とかして若い人が住みたいと思える川地になることを願っています。</p>
川地のこれからの農業について、 社会福祉・医療	<p>すべて前向きに解決しなければならない問題ですが一つ選ぶとしたら「農業について」です。自然の恵みを軽んじることなく土地を守り抜くためには鳥獣被害をなくして農業を持続するようにし、日々の生活の基盤の維持を保つことが必要です。そう思っても体が思うように動きません。</p>
川地中学校の統廃合計画について	<p>地域で生まれ育った子供たちが地域に帰って生活し子育てしようという意識がなくなりつつあります。</p> <p>民生員さん児童委員さんが地域のために引き受けてくださっていても、次の引き受けを探すのも一苦勞。何事も先に決めて事後報告というのは無責任すぎると思います。</p> <p>地域の子供達の学校生活など見えにくくなり、委員さんの心遣いが伝わらなくなります。</p>
川地中学校の統廃合計画について	<p>川地中学校の存続について、市教委に対し誰がどのように交渉していくのか明確にすることが必要だと思います。その場合交渉の最終期限を設けることが必要だと思います。仮に十日市中へ行くことになった場合、子供たちの影響を考えると、期限を区切り通学方法、校名、校章、校歌、制服など詰めなければいけない事項はたくさんあります。子供たちにとってどのようにするのが最善か。</p> <p>時期を失すると市教委のペースで物事が決まってしまう恐れがあります。R11年はもうすぐそこまで来ています。もちろん最後の1名まで徹底抗戦し、川地中学校を残すという闘い方もあります。</p>
川地中学校の統廃合計画について	<p>今まで当たり前にあった中学校がなくなるのは本当に寂しいことです。中学校も何か特色のある魅力ある学校をつくって他から来たい学校にできれば最高です。川地には空き家がたくさんあります。地域一丸となって若い人が住みたいと思う</p>

	<p>ような取り組みが出来たら子供も増えると思います。</p> <p>交通便も良く災害も少ない地域なので済んで楽しいと思われるような取り組みをみんなで考えていきましょう。</p>
川地中学校の統廃合計画について、人を増やす、地元に出入りする人を増やす	<p>これらの諸問題に優劣つけがたい。まず、人を増やす事から先決と思う。</p> <p>子どもは村の宝である。中学校統廃合の話聞くだけで若者が出て行き、帰ることはありません。最後の一人まで守るべきです。</p> <p>地元で学校が無くなれば過疎が過疎を呼びます。</p> <p>少数生徒でも山奥の学校でも立派に出世された話はよく聞きます。</p>
川地中学校の統廃合計画について、地元タクシー事業に伴う交通手段の確保、Aコープかわち店閉店に伴う川地の暮らしについて	<ul style="list-style-type: none"> <li>-通院などの交通手段に困る</li> <li>-車がない人にとって、近くに買い物をするお店がないのは困る。値段の高いお店でなく、購入しやすい価格のお店があると嬉しい</li> <li>-タクシー、お店、学校など色々なものがなくなっていくと移住者がいなくなるのではないかと心配だ</li> </ul>
地元タクシー事業に伴う交通手段の確保	<p>JR 志和地駅はバリアフリーになっておらず、足腰が不安になった時に使用しにくい。また、バスは数が減って限りがあり不便。自家用車が運転出来るときはいいが、体調不良や病院の薬などで乗っていけない時の手段がタクシーになると思う。その時、十日市、三次町や甲田(甲立駅)から川地までのタクシーは時間もお金も必要以上にかかってしまう。川地も白タクなどの制度を作って早期に運用してほしい。</p>
地元タクシー事業に伴う交通手段の確保	<p>90歳を超えた二人暮らしにとって通院が大変です。タクシーが必要です。大事が起きて車はなし、お願いする人もありません。大変困っております。市の方でよい考えはないものですか。よい考えを出してください。</p>
地元タクシー事業に伴う交通手段の確保	<p>JA、局、受診等々近くでもタクシーを利用していました。歩いては無理だしどうしたらいいの？高齢者は死ぬという事？何か対策を考えて下さい。</p>
地元タクシー事業に伴う交通手段の確保	<p>後期高齢者となり過疎に住んでいて、志和地タクシーも廃止となり、主人の運転ももうすぐ免許返納となると思う。病院、買い物に困ると思う。近くに住んでいる娘夫婦も仕事の関係で何時でもやんでももらえないと思う。乗り合いタクシーでも運営してもらいたいと思う。</p>
地元タクシー事業に伴う交通手段の確保、Aコープかわち店閉店に伴う川地の暮らしについて	<p>70代、80代になりますと、病気も多く、中央病院や三次の町の歯医者に通院するのに困っています。夫も歩けない状態でタクシーがどうしても必要です。予約制でも乗り合いタクシーをお願いしたいと思います。買い物も多く生協も利用していますが、生物や野菜が重く日々の生活に困ります。</p>
地元タクシー事業に伴う交通手段の確保について	<p>市民タクシーは、二人以上の乗り合いなどで使いにくい。地域タクシーを考えて欲しい。</p>

皆さま、数々の意見をいただきありがとうございました。これからもできることを少しずつ頑張っていきますので今後ともよろしくお願いします。